

番号	1-3-1	表題	火山灰等により閉塞した管きよの復旧技術に関する基礎調査について	
内容	<p>令和2（2020）年度に内閣府中央防災会議において、富士山の宝永噴火（宝永4（1707）年）と同規模の噴火を想定した、降灰のシミュレーション結果が公表された。そこでは、都内において2～10cm程度の降灰が予想されている。また上下水道等への被害想定では、下水道において、「1mm前後の降灰後に降雨があると、灰が下水道管内へ流入し管路が閉塞するおそれ」、水道については、「原水の水質悪化により、給水制限や断水のおそれ」が指摘されている。これらより、降灰により都内の下水道管が閉塞する可能性がありながらも、給水制限や断水により、高圧洗浄を用いた閉塞の解消が困難となるおそれがある。そこで、火山灰や土砂により閉塞した管きよの復旧技術を確立することを目的に、候補となる技術を選定するとともに試行を行った。</p>			
キーワード	富士山、火山灰、管路閉塞、除去方法、挙動調査			
処理区名		位置区分	ます 取付管、管きよ	
職種区分	土木	施策区分	危機管理	
状態区分	調査 研究	新規性	新規知見あり	
実施年度	令和元年度	全体期間		
担当部署	計画調整部技術開発課企画調整担当			
発表履歴	局内	令和4年度 設計・工事事例発表会		
	局外	令和4年度 第60回下水道研究発表会		
調査方法	委託調査			
関連情報	技術開発推進計画 2021			